

「真夏の決戦、シリーズは混戦へ」



センターコンソールに注目！

2013K 耐久/GT 耐久東海シリーズ第2戦 GT 耐久は、23 台の参加者を集め、愛知県蒲郡市のスパ西浦モーターパークで開催された。

予想よりはるかに早く梅雨明けを迎えた東海地方は、午後のじりじりと照りつける日差しが暑い。しかしながらゲリラ豪雨の予報もあり予断を許さない空模様。

「1 + 2 C」クラス(1500cc および特認 1600cc 以下の NA 車と、1200cc 以下の過給機付き車のクローズドクラス)

開幕戦に初出場で優勝をさらった#88 の菱木シビックが CVT 車でエントリー。
”参加しやすいこと”をコンセプトにしたこのマシン、どんな走りを見せつけるか。
また、#108 の「IDI マルヨシスターレット」もエントリー、こちらも注目。

■予選

予選で 1 番時計をたたき出したのは、なんと#88「菱木レーシングシビック」！
1' 06.444 と開幕の 4 秒台には及ばないが(細かい仕様が違うため)、十分以上の速さ。2 位は#108「IDI マルヨシスターレット」が 1' 07.467 で続き、3 番手には#70「トータルセブンシビック GT」が 1' 08.831 で並んだ。

以下 4 番手#24「改瀬工業 Vti シビック」1' 09.314 で 1500 シビックが続き、前戦優勝の#92「ワンナイヴィッツ」が 1' 10.383 で 5 番手、最後尾は#107「トータルセブンロードスター」1' 15.020 というグリッド。

■序盤

序盤はほとんど差のない立ち上がり、その中でトップを行くのは#108「IDI マルヨシスターレット」、GT 耐久初参加ながら K 耐久や FSW でのレース経験も豊富。
2 番手は#24「改瀬工業 Vti シビック」、注目の#88「菱木レーシングシビック」は同一ラップの 3 番手でついていく。

■中盤

午後 2 時半過ぎに管制塔のモニターに雨の一報がもたらされる、各チームクルーたちもアプリでチェックするなど緊張が走る。果たしてその 10 分後スコールがサーキットを覆う。雨足は強いものの数分であがり大きな混乱は見受けられなかった、各ドライバーの集中力は高いようだ。

そんななかで 1 時間経過時に首位を行くのは#24「改瀬工業 Vti シビック」。2 位#88「菱木レーシングシビック」、3 位#70「トータルセブンシビック GT」と 1500 シビックが上位勢を形成。4 位#92「ワンナイヴィッツ」、5 位#107「トータルセブンロードスター」、序盤トップに立った#108「IDI マルヨシスターレット」はエンジン不調から、最初のピットイン時にリタイヤとなった。

雨の上がったコースは、以前にもまして強烈な日差しと暑さが襲う、レースはまだ始まったばかりだ。



なんと予選トップから CVT が初優勝！ #88



今季初参加で 2 位 #24



午前中は初夏らしい天気恵まれた

Race Report



■終盤

中盤から終盤にかけて順位を上げてきたのは#88「菱木レーシングシビック」、CVT の利点を生かし立ち上がりでは、上位クラスにも劣らない速さを見せるトップを奪取。2 位は#24「改瀬工業 Vti シビック」、3 位は#70「トータルセブンシビック GT」とシビック三つ巴は変わらないが、#88 がじわじわと引き離しにかかる。中団以降は#92「ワンナイヴィッツ」が#107「トータルセブンロードスター」とのギャップをひろげたか。

■最終結果

優勝は#88「菱木レーシングシビック」、CVT での優勝は東海シリーズ初のこと。第 2 位は#24「改瀬工業 Vti シビック」が 2 周差まで詰め、3 位は#70「トータルセブンシビック GT」とシビック 1500 勢が表彰台を独占。4 位#92「ワンナイヴィッツ」、5 位#107「トータルセブンロードスター」という最終結果。

■総評

1500 シビックは EG 発売から数えると 20 年以上となるが、現在でもクラス最強ともいえる SOHC VTEC と 4 輪ダブルウィッシュボーンという高いポテンシャルを持っている。その一方 2 速のギヤが広く、ヘアピンの立ち上がりなどが弱点とされている。さらに 1500 の MT は現在では個体数も減る状況にある。そんな悩みを解消すべく、CVT を持ち込んだ菱木レーシングのチャレンジは大成功。レース中のラップタイムも 6 秒台を記録し、立ち上がりの加速感もまずまずというドライバーの意見もあるなど、今後が注目される。また CVT (ホンダ・マルチマチック) 車は入手しやすいということもポイントが高い。

さて、ポイント争いは大混戦、第 2 戦で優勝し今回 4 位に入った#92「ワンナイヴィッツ」が 70P で首位だが、#70「トータルセブンシビック GT」がわずか 1P 差で追えば、さらに 4P 差で#88「菱木レーシングシビック」が続き、今シーズン初参加の#24「改瀬工業 Vti シビック」もしっかりとポイントを稼ぐなど、先の展望が見えないくらいの大接戦となっている。

次戦もポイント増量ラウンド、シーズン後半に向けて目が離せない。



表彰台はシビック独占 #70



シリーズランキングトップに！ #92



オープン暑いですが？ #107



速さは見せたがエンジンブロー #108



立ち上がりは上位クラスにも負けられない！

